

郷土者ってどんなひと？
南相馬の
カッコイイ
おとな手帖



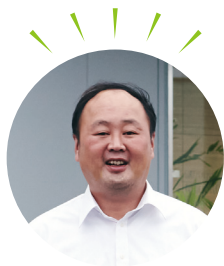
神奈川県 → 南相馬市

おとな手帖

No.09

動けロボット、動け自分

誰にも溢れる未来への可能性



今回のカッコいい大人

うねむら むねひろ

上村 宗弘さん(47)

大阪府吹田市生まれ

株式会社 F-Design
お仕事 南相馬ロボット開発事業所

移住歴 2019年～

24歳

設計士を目指し
住宅会社に勤務。
住宅展示場で
営業に携わる。

26歳

転職し、切削加工
会社に勤める。

42歳

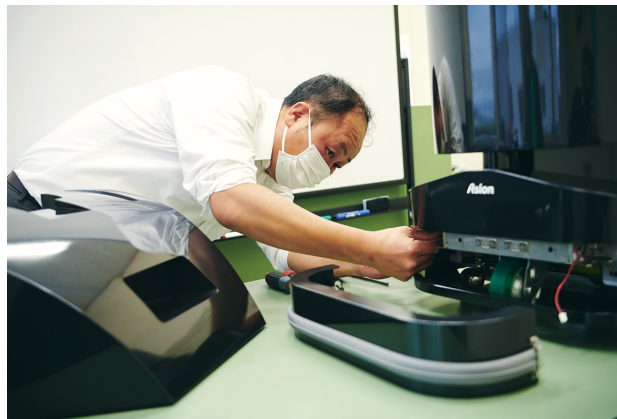
株式会社F-Design
に転職し、
神奈川県相模原市
の本社に勤務。

44歳

南相馬事業所の
開所を機に
南相馬市へ移住。



設計からプロジェクト管理、営業まで広く行う



ドライ清掃ロボット「Asion」の修理を行う上村さん





上村さんに Q & A 聞いてみた!



Q1. 今の仕事内容と 高校生に伝えたいことは何ですか?

A. 南相馬市は福島ロボットテストフィールドがある上、様々な施設でロボット製品の導入を進めています。そのため環境が良く、我々の会社も南相馬に事業所を置くことになりました。開所当時は設計から1人でやっていましたが、今は仲間がいるので、基本的には営業の電話、プロジェクトの進行段取りなど管理が中心の仕事をしています。同じ事業者さんや人柄のいい人が多く、仕事のしやすい地域です。

私から高校生に伝えたいのは、南相馬が不便だと思ったら、それが仕事になるということです。今は個人で起業ができる時代で、ここはそれがしやすい地域だと思います。一度地元を離れて、また戻ってみると、都会とは違う地元の良いところや足りないところが新たに見えてきます。「南相馬をこうしたい」という理想は、夢と希望をもって動くことで自分の力で叶えられます。

Q2. 移住後の変化、 南相馬の環境について教えてください。

A. 以前は仕事がほとんどで、南相馬に来てから趣味は増えました。元々好きだった釣り、興味があつた米作りなどの農業、キャンプも始めました。土地柄なので馬にも乗ってみたいですね。自然の中で趣味ができるこの地域が私にはとても合っています。

南相馬には、自分が「何々したい!」という時に協力してくれる人がたくさんいます。誰かに願望を話す人同士の繋がりもあり、巡り巡って実現することも多いです。個人では実現が難しいことでも、協力したり、声をかけてくれる方もいるので、チャレンジできる環境がとても整っていると思います。これは仕事面にも繋がります。場所の環境というより、人の繋がりの強さ、何より人柄の良さの表れだと思います。素晴らしい環境があるからこそ自分で積極的に動き、飛び込むことが大切です。



わたしが記事にしました!



もとは
大井 紀葉
原町高校 1年

編集後記

ロボットのまち、南相馬という環境の中で自分の仕事もやりたいことも、進んで実行して希望を叶えていく上村さんの姿は見習うべき素晴らしいものだと感じました。取材中も思わず笑いがこぼれるような、周りも楽しくしてくれる素敵な方でした!



(上村さんの暮らし・仕事について
さらに詳しく!)

Webサイトの記事はこちら→



My favorite Minamisoma
南相馬のお気に入り

烏崎海岸
Karasuzaki Beach

海辺で馬が走る
光景が素敵です



南相馬に来て初めて釣りをするために烏崎海岸を訪れました。朝焼け時、私の目の前に馬が走ってきたんです。南相馬が馬のまちだと知らなかった私は、馬が普通に目の前にいることにも驚きましたし、海辺で馬が走る光景があまりにも美しく思わず写真を撮ってしまいました。

OKINIRI

移住者ってどんなひと？
南相馬の
カッコイイ
おとな手帖 って？

南相馬市には他地域から移住し、自分らしくかっこよく働くおとなたちがたくさん暮らしています。

彼らが「今、ここにいる理由」はさまざま。夢を叶えるため、誰かと共に生きるため……。それぞれの物語を紐解いていくと、多様な南相馬の魅力に気づきます。

「移住者」に会いに行くのは、南相馬市で育った高校生たち。自分たちには当たり前な環境も、移住者のみなさんの視点を借りると、なんだか違って見えてくる！

Publisher：南相馬市役所 移住定住課

Direction：marutt Inc.

Editor：小野民、高橋慶香、大井紀葉

Designer：高木市之助

Photographer：鈴木穰蔵

南相馬で自分らしい暮らしを
実践している先輩移住者がたくさん！

南相馬市 移住者インタビュー Webサイトはこちら→

